

2019年9月18日
日興アセットマネジメント株式会社

資源株ファンド 通貨選択シリーズ
<ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース>
(毎月分配型)

2019年9月決算と今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております掲題ファンドは、2019年9月17日に決算を迎えました。今回の決算において、現在の基準価額水準やファンドを取り巻く市況動向などを総合的に勘案し、また、お支払いする分配金額を抑えることで期待される再投資効果により、将来の運用成果を高めることをめざし、ブラジルリアル・コースの分配金額を以下の通り見直すことと致しました。

次ページ以降で、今後の見通しなどについてまとめておりますので、ご一読いただければ幸いです。

当ファンドは、基準価額の回復をめざし、鋭意運用を行なってまいります。今後とも、「資源株ファンド 通貨選択シリーズ」の各コースをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

分配実績

コース名		ブラジルリアル・コース	南アフリカランド・コース	オーストラリアドル・コース	米ドル・コース
分配金額 (税引前、 1万口当たり)	2019年 9月	10円 <引き下げ>	20円	30円	30円
	2019年 8月	20円	20円	30円	30円
2019年9月17日現在の 基準価額 (税引前分配金控除後)		1,273円	2,443円	3,559円	6,124円

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご覧いただき「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の
投資環境

リスク回避の動きを受け、資源株・通貨ともに値動きの荒い展開に

■ 資源株

直近1年間の推移をみると、米中貿易摩擦などを背景に原油価格や株式市場の変動が大きくなるなか、資源株は総じて値動きの荒い展開となりました。

特に、2019年4月頃にかけては、米中貿易摩擦の動向に世界の金融市場が振られるなか、資源株もその影響を強く受け、世界株式と同様の値動きとなりました。一方で、年初以降、景気減速懸念の後退に伴う原油需給の改善期待が高まるなか、WTI原油価格が4月下旬に1バレル＝60米ドル台後半まで回復したことは、資源株の支援材料となりました。しかし、その後は、米中摩擦懸念の再燃によって原油価格が反落したことなどが下押し圧力となり、資源株は不安定な値動きが続きました。

こうしたなか、8月初には米国が対中制裁関税「第4弾」を表明したほか、欧州や中国の経済指標の軟調を背景に、世界景気の鈍化懸念に伴う原油需要の減少見通しが強まり、7日には原油価格は1バレル＝51.09米ドルと、約半年ぶりの安値水準を付けました。しかし、足元では、中国やドイツで政府が景気下支えに向けた動きをみせているほか、米中協議再開への期待などから、投資家心理が好転し、原油価格や資源株はやや持ち直しの動きをみせています。

■ 資源国通貨

外国為替市場では、米中貿易摩擦や世界景気の鈍化懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、各国の軟調な経済指標などが重石となり、資源国通貨は総じて上値の重い展開が続きました。

ブラジルや南アフリカでは、7月上旬にかけて、米中協議の進展期待などから、通貨が対円で反発したものの、8月には、米国による対中追加関税の発表や資源安などを受け、急反落しました。なお、ブラジルでは7月末に中央銀行が市場予想を上回る利下げを実施したことも、通貨の下げ足を速める要因となりました。

また、オーストラリアでは、景気減速懸念などに加え、中央銀行が6月と7月に2会合連続で利下げを決定し、今後の追加緩和の可能性を示唆したことなどが重石となり、通貨は総じて軟調な展開となりました。

直近1年間の主要資産の推移

＜資源株と原油価格の推移(米ドルベース)＞

(2018年8月末～2019年9月6日)

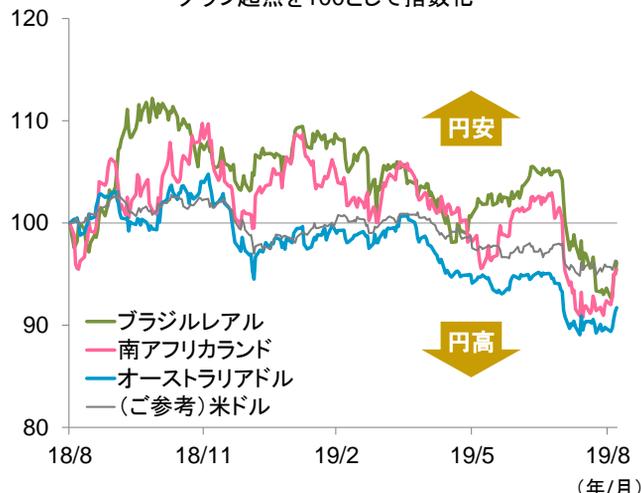
株価はグラフ起点を100として指数化 (米ドル/バレル)



＜為替(対円)の推移＞

(2018年8月末～2019年9月6日)

グラフ起点を100として指数化



資源株：S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数、世界株式：MSCI ACワールド指数
※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルレアル・コース＞＜南アフリカランド・コース＞＜オーストラリアドル・コース＞＜米ドル・コース＞(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し
〈資源株〉

景気鈍化が重石となるも、資源各社のファンダメンタルズは良好

【資源価格】 足元で値動きが荒い展開となるも、今後は安定した推移が見込まれる

- 原油価格については、7月のIMF(国際通貨基金)の世界経済見通しの引き下げなどを背景に、原油需給の見通しは幾分悪化したものの、7月に、主要産油国が協調減産を9か月延長し、2020年3月末まで実施することで合意した点は、下支え要因になるとみられます。米国の原油生産で採算のとれる水準を割り込む可能性は低いとみており、**WTI原油価格の推移は、年内は1バレル=50~60米ドルの範囲内に留まる**と見込んでいます。
- 素材価格については、鉄鉱石価格は中国の生産増などから値動きが荒い展開となったものの、依然として高い水準で推移しています。短期的には、中国やインドの輸入増に支えられるとみられ、今後は安定した推移を見込んでいます。このほか、銅価格は世界景気の鈍化懸念を背景に軟調となっています。しかし、中国政府は景気刺激策を打ち出しており、鉄鉱石や銅の価格を下支えすると期待されます。また、金価格は、米国をはじめとした主要国の中央銀行が緩和姿勢を強めるなか、金利低下を追い風に、堅調な推移が期待されます。

【資源株】 良好なファンダメンタルズから、リスクオンの場面では反発が期待される

- 素材株については、貿易摩擦や世界景気の鈍化懸念に伴う投資家心理の悪化が、株価の重石となっているものの、**これまで財務の健全化を進めてきた資源各社のファンダメンタルズは改善傾向**にあります。各社が潤沢なフリーキャッシュフローを背景に、自社株買いや配当の増加など、株主還元への姿勢を積極化させていることは、資源株の下支え要因になると期待されます。今後も、世界景気が一段と鈍化するような場合は、企業収益が下押しされる可能性はあるものの、投資家心理が改善する場面では、ファンダメンタルズが良好な資源株が選好され、株価の上昇が期待されます。
- なお、足元では、世界的に環境規制や投資家による脱石炭を求める動きが強まっています。こうしたなか、一部の資源メジャーはいち早く石炭産業を売却し、環境規制に対応するとともに、主力事業や成長分野への集中など、事業構成の見直しを進めることで、収益力を高める取り組みを行なっています。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

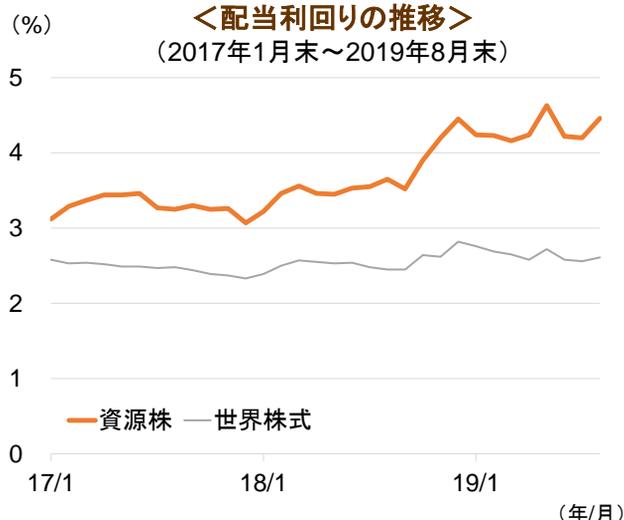
〈資源価格の推移(米ドルベース)〉
(2018年8月末~2019年9月6日)



原油: WTI原油先物、銅: LME3ヵ月先物、
鉄鉱石: スポット価格指数62%粉鉱石輸入、金: NY金先物

〈配当利回りの推移〉

(2017年1月末~2019年8月末)



資源株: S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数、
世界株式: MSCI AC ワールド指数

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「資源株ファンド 通貨選択シリーズ〈ブラジルリアル・コース〉〈南アフリカランド・コース〉〈オーストラリアドル・コース〉〈米ドル・コース〉(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し
〈通貨〉

ブラジルレアルの現状と見通し

以下では、今回分配金額の変更を行なったコースの通貨について、ご紹介いたします。



外部環境の不透明感が残るものの、国内景気と財政再建には明るい兆しが

- 2019年8月末にかけて、ブラジルレアルは大きく下落しました。背景には、ブラジル経済の成長鈍化に加え、米中貿易摩擦や世界景気の鈍化懸念などに伴う投資家のリスク回避姿勢の強まりがあります。
- ブラジルでは、1-3月期にかけて経済成長が鈍化傾向となっていたものの、4-6月期のGDP成長率は前年同期比で+1.0%と、前期(同+0.5%)から伸びが加速しました。個人消費の拡大がけん引役となっており、インフレ率の低下や最低賃金の引き上げなどが追い風になったとみられます。足元の成長ペースは力強さには欠けるものの、同国経済は資源輸出主導から内需主導へと移行しつつあり、持続的な成長が期待されます。
- また、8月には、年金受給開始年齢の引き上げを柱とする年金改革法案が下院で可決され、上院に送付されました。財政赤字の主因となっている年金制度の改革が実現すれば、大幅に歳出が抑制されると見込まれており、財政再建の進展期待が高まっている点も、ブラジルレアルの追い風になるとみられます。
- なお、ブラジル中央銀行は、インフレ率の低下や年金改革の進展を背景に、7月末の政策会合で1年4ヵ月ぶりの利下げを決定し、政策金利を、市場予想を上回る0.5%ポイント引き下げました。さらに、政府も、景気下支えに向けた各種政策の導入や規制緩和、公営企業の民営化などの改革を推し進めていくとみられます。
- 先行きについては、地理的にも経済的にも近いアルゼンチンの財政危機が、ブラジル経済や通貨の重石となる可能性があるほか、世界景気の鈍化懸念に伴う投資家のリスク回避姿勢の強まりが、新興国通貨全般に影響する可能性があります。ただし、足元では、ブラジル中央銀行がレアル安抑制に向け、大規模な為替介入を実施しています。中長期的には、**景気回復や財政再建のさらなる進展がみられれば、市場の信認が高まり、ブラジルへの資金流入につながると期待されます。**

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

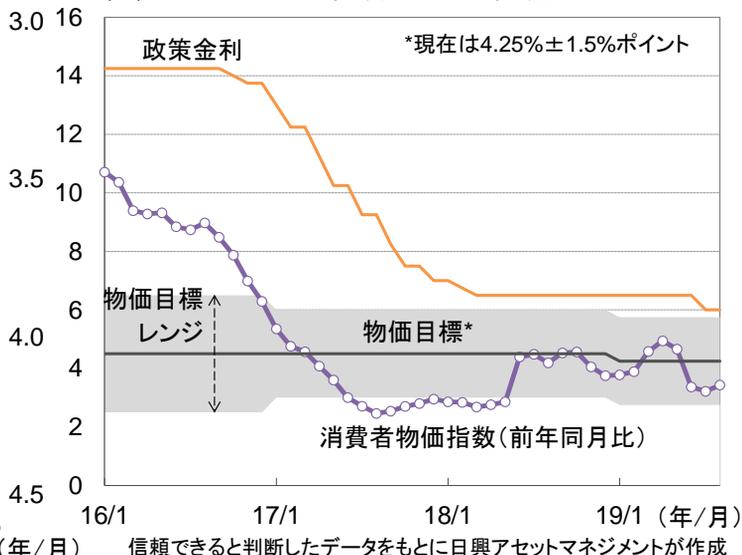
＜ブラジルレアルの推移＞

(円) (2018年8月末～2019年9月6日) (レアル)



＜ブラジルの物価および政策金利の推移＞

(%) (2016年1月～2019年8月)



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルレアル・コース＞＜南アフリカランド・コース＞＜オーストラリアドル・コース＞＜米ドル・コース＞(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

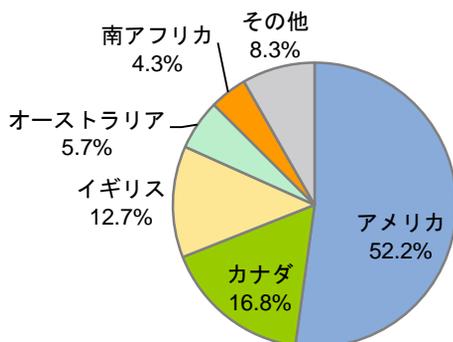
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2019年8月末現在)

業種比率

業種	比率
エネルギー	49.4%
素材	46.5%
生活必需品	1.9%

国別株式組入比率



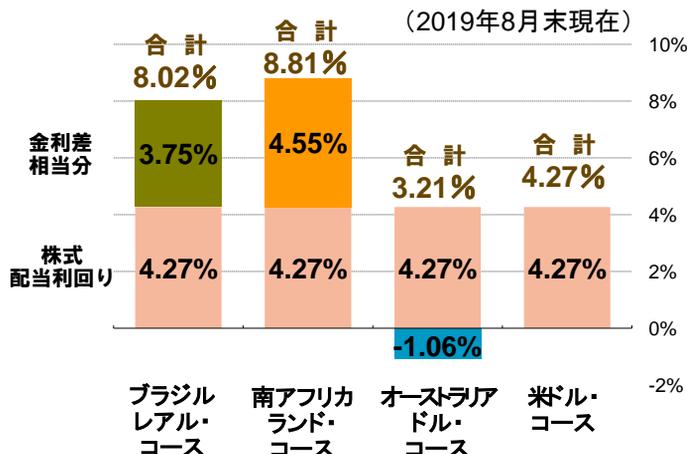
株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHPグループ	イギリス	素材	5.72%
2	ニュートリエン	カナダ	素材	4.74%
3	リオ・テイント	オーストラリア	素材	4.64%
4	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.93%
5	ロイヤル・ダッチ/シェル	イギリス	エネルギー	3.56%
6	シュルンベルジェ	アメリカ	エネルギー	3.50%
7	シェブロン	アメリカ	エネルギー	3.42%
8	トタル	フランス	エネルギー	3.37%
9	BP	イギリス	エネルギー	2.66%
10	アングロ・アメリカン	南アフリカ	素材	2.59%

【銘柄数: 68銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分: ブラジルリアル短期金利(1ヵ月国債利回り)、南アフリカランド短期金利(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート1ヵ月)、オーストラリアドル短期金利(1ヵ月物銀行手形金利)から、それぞれ米ドル金利(1ヵ月LIBOR)を差し引いて算出。
株式配当利回り: 「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それをを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに
日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

ブラジル
リアル・
コース



南アフリカ
ランド・
コース



オーストラリア
ドル・
コース



米ドル・
コース



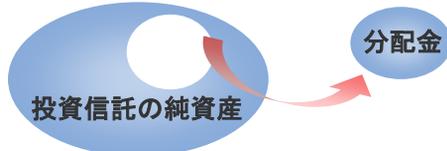
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

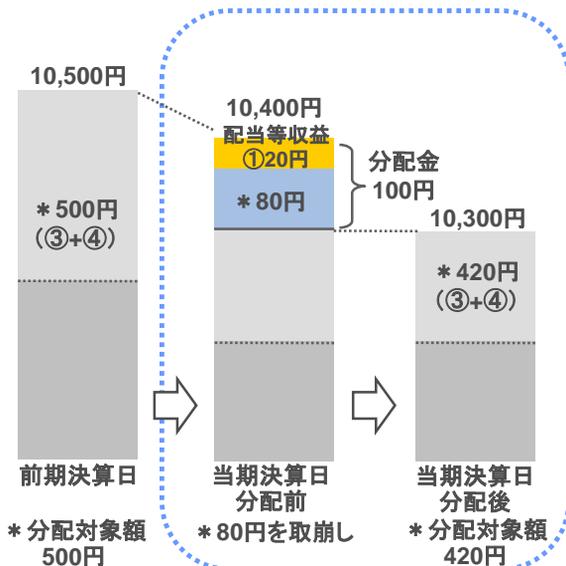
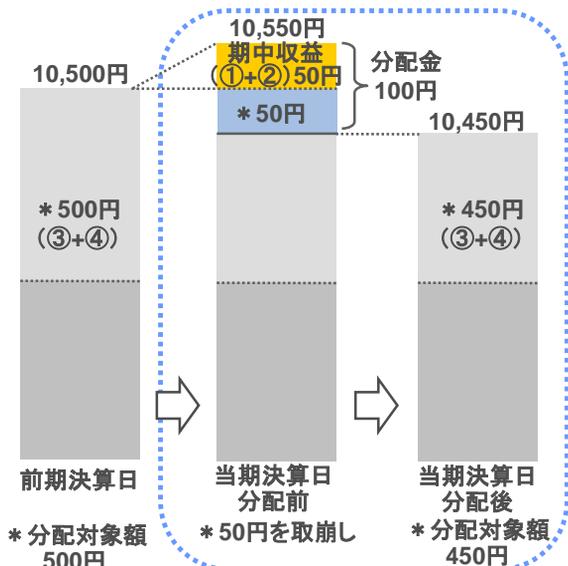


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



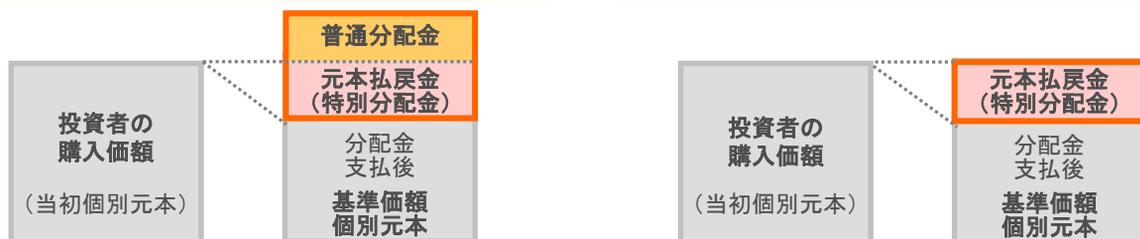
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

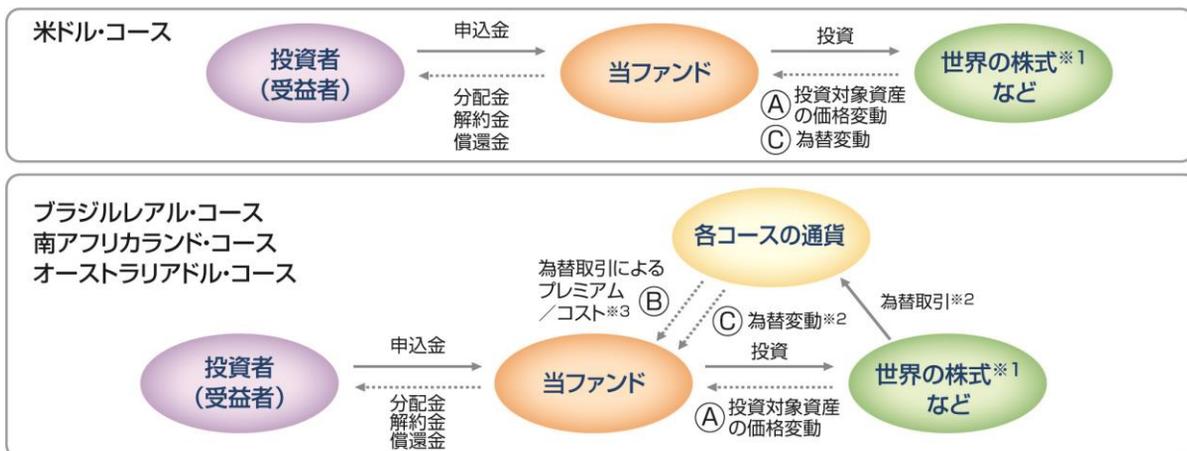
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		(A) 株価の値上がり/値下がり	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*		為替差損の発生 原資産通貨に対して円高
収益の源泉		(A) 株価の値上がり/値下がり	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利がプラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利がマイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
 2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
 3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様は帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

お申込みメモ

- 商品分類 追加型投信/内外/株式
- 購入単位 販売会社が定める単位
※販売会社の照会先にお問い合わせください
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)
【米ドル・コース】
2024年6月17日まで(2013年9月18日設定)
- 決算日 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 購入・換金申込不可日 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込み日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 換金代金 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時に直接ご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.78%*(税抜3.5%)以内
*消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。
※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対して年率1.79%*(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
*消費税率が10%になった場合は、1.81%となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%*(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。

*消費税率が10%になった場合は、1.1%となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。

その他の費用・手数料 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

【米ドル・コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。